

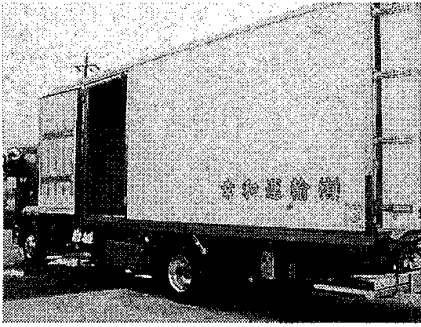
採用光触媒コーティング

食品輸送で差別化

美観維持、脱臭・殺菌効果も

幸和運輸

【埼玉】幸和運輸（中村浩社長、埼玉眞坂戸市）はこのほど、自社トラックに光触媒コーティングを採用した。4斗冷凍車の車体および庫内にサンアコール（山口昇社長、福岡市東区）製の光触媒溶剤「SUNコーティング」を塗布。臭気がなくするなど効果を実感したことから、順次、対象車両を拡大する。光触媒には車体の美観の維持、排出ガスの浄化作用、脱臭・殺菌効果があり、厳しい衛生管理が求められる食品輸送で差別化が期待できる。



遮熱やCO₂削減効果もある

食品物流をみると、工場では商品のじか置きが禁止され、トラックに積み込む際もシートや台車の上に乗せるよう指導されるなど、徹底した衛生管理が行われている。一方、トラックの庫内では、段ボールがバラ積みになれ、運転者が土足で荷台に上がるケースも少なくない。中村社長は「工場から離れた後、運送会社ができる画期的な衛生管理の方法がないか」模索して

いた。

光触媒溶剤の製造・販売・施工を手掛け、建築物の外壁などで納入実績があるサンアコールは、トラックの光触媒コーティングを中村氏に提案。まず1両でトライアルし、中村氏自らが塗布して社員と塗布前後の臭気の違いを確認した。18日には、メーカー、ボディメーカー、運送会社を招いて説明会と実際のトラックを用いたデモンストレーションを行った。

SUNコーティングは、水と酸化チタンのみで構成される完全な無機溶剤で、人や自然環境に無害でかつ光触媒塗膜の劣化が起きないのが特徴。福岡大学との産学協同で開発した商品で、特許を申請。国土交通省の新技术情報システム（NETS）にも登録されている。脱臭や殺菌効果も第三者機関が認定しており、信頼性の高い商品と判断し、幸和運輸は採用に踏み切った。

トラックに塗布すると、紫外線と雨水で汚れを付きにくくし、親水性により雨がやんだ後に水滴の後が残らないため、洗車回数を削減できる。窒素酸化物（NOx）、硫黄酸化物（SOx）を分解し、無害な物質に浄化。菌やカビの繁殖を抑えるだけでなく、付着した菌を死滅させる。遮熱効果も確認されており、冷凍車の冷凍機コンプレッサの負担軽減も見込まれる。

中村氏は「常にトラックを奇麗にすれば、運転者の意識が変わり、事故を大幅に減らせることを実感していた。光触媒コーティングにより、さらなる意識向上が期待できる。大型トラック1両に光触媒溶剤を塗布すると、ボディの木目部分のCO₂（二酸化炭素）削減効果があると言われてお

り、今後、採用する車両を「たい」と話している。
増やして地球環境に貢献し
（石井 麻里）